

安心施策検討会(第1回～第3回) 検討会委員意見

平成26年10月7日

事業1 障害者24時間安心サポート事業	意見等
<p>1 65歳未満、区分認定、障害者の認定という制限をはずしたらどうか。</p> <hr/> <p>2 登録制に対する意見 ① 現在の短期入所利用者との違いがなければ意味がない。 ② 事前登録をして、区分認定を受けて支援が必要な方は通常の短期入所の方を利用してもらう。 ③ 日頃は家族がお世話をしている支援が必要のない人にこそ登録を促す。 (しっかりと制度の周知をすること) ④ 事前登録をすることによって利用できる人が制限されてしまうので、登録制でない方がよい。 ⑤ 受け入れる事業所側は、事前に利用者の状況を把握しておきたい。</p> <hr/> <p>3 休日、夜間も含め、24時間受け付けてコーディネートできるような体制にしてほしい。</p> <hr/> <p>4 国の事業「地域生活支援拠点等の整備」を活用すれば良いのではないかと。実施時期の問題もあるだろうが、宇部市独自で先行事例を進めてはどうか。</p> <hr/> <p>5 障害の種類から考えても、対応する事業所は複数施設あればよい。</p>	
事業2 個に応じた学習・生活支援事業	意見等
<p>1 障害の理解に関して、子供たちにきちんと教育できる教員の育成をお願いしたい。 (事業3も含めて)</p> <hr/> <p>2 教育施策であるので、教育委員会の予算で実施するべきものではないか。</p> <hr/> <p>3 低学年で学習支援員に入っていて、Team Teaching でやっていくのは大変有効である。</p> <hr/> <p>4 特別支援教育巡回指導員は週3日勤務では少ない、毎日勤務にするべき。 (毎日の関わりの中で子供の発達が見えてくる。)</p>	

安心施策検討会(第1回～第3回) 検討会委員意見

平成26年10月7日

事業3 発達相談機能充実事業	意見等
1 対象者の拡大を見据えて、含みを持たせた表現にしたほうがよい。	
2 ひきこもり等の障害の可能性の高い人達も施策の対象として欲しい。 (相談と訪問支援)	
3 スタッフは臨床心理士、社会福祉士だけでなく、精神保健福祉士も加えると機能が充実する。	
4 事業所に委託をするのではなく、市の施設にこの機能をおいて欲しい。	
事業4 障害者理解促進事業	意見等
1 学校での理解促進については、実際に障害者スポーツの指導者から指導をしていただく等、障害をもつ方と触れ合うことが大事。	
2 障害にかかるポスターの募集と賞の授与という啓発の方法も良いのではないか。	
3 障害のある方が地域の中で自然に働いている姿を見てもらうのが一番の障害者理解。 それを調整する機能に予算を充てるもの良いのではないか。	
4 事業実施するだけでなく、事後指導を充実させて欲しい。	